



日本代表チーム 「なでしこジャパン」「侍ジャパン」

各競技の日本代表を指すときに「〇〇ジャパン」という呼び名を聞いたことはありますか？実は今、オリンピックを目前にして「ジャパンプーム」。誰もが知る元祖有名な愛称から、競技名を想像するのが難しそうな呼び名まで、現在 20 以上の呼び名があるようです。

◆「なでしこジャパン」 ⇒ 女子サッカー

「〇〇ジャパン」の先駆けで、清楚（せいそ）で凜（りん）とした美しさを持つ日本女性をたたえる言葉「大和撫子（なでしこ）」に、世界で羽ばたく意味を込めた「ジャパン」。ワールドカップ（11年）で優勝。



◆「トビウオジャパン」 ⇒ 競泳

戦後に次々と世界記録を打ち立て「フジヤマのトビウオ」と称された古橋広之進に由来する。トビウオのように…という意味が込められ、数々の金メダリストが生まれている。

◆「マーメイドジャパン」 ⇒ アーティスティック・スイミング

「マーメイド」＝人魚に由来。人魚のように水中を自由自在に泳ぎ、芸術性などを競い合う。06年に放送したテレビ局が命名。マーメイド日記という日本代表ブログもある。

◆「フェアリージャパン」 ⇒ 新体操

化粧品会社 POLA の名前が付く珍しい名称。「妖精（フェアリー）のように舞う」とのコンセプトで、世界選手権（9月）で44年ぶりの銀メダルを獲得し、東京での期待も高まる。

◆「侍ジャパン」 ⇒ 野球

「野球日本代表結束」「全世代、世界最強」をキーワードに発足し、。トップチームはもちろん、社会人代表、大学代表、U-18代表、U-15代表、女子代表など日本野球界全てのカテゴリーが結束して世界と戦う。



◆「桜戦士」 ⇒ ラグビー

五輪競技ではないが各国の愛称が広く認知されるのが15人制ラグビー。日本は「ブレイブ・ブロッサムズ＝勇敢な桜戦士」が通称で、03年W杯での戦い方が評価され命名された。

元祖は「なでしこジャパン」。発端は日本サッカー協会の一人の女性職員だった。オーストラリア女子代表が「マチルダス」と呼ばれ、女子代表と一目なことに共鳴。川淵キャプテンの直轄組織に提案し、異例の公募を経て決定。また、愛称が競技ではなく種目につけられるケースも。「韋駄天（いだてん）スプリンターズ」は陸上の男子リレーチームの呼び名。リオデジャネイロ五輪の入場時に侍ポーズをしたことから「リレー侍」（非公式）。そして、「さむらいジャパン」はホッケー男子に続き、野球も発表・商品登録。野球が漢字の「侍」、ホッケーがカタカナの「サムライ」に分けられる。